

灯火

感謝の想いを受け継ぎ仲間とともに未来を照らす光



ボール遊びの中で感じたうれしさが  
優しさの循環になるように

# 幅広い年代に野球の楽しさを伝える みんなの監督

## 関島 資浩さん

あづみの野球フェスタを主宰し、多くの人に野球の魅力を伝えている関島さんに話を聞きました。

昔はちょっとした広場があればプラスチック製のバットで野球をしたりキャッチボールをして遊んだりする子どもたちの姿が見られました。しかし現在はバットを振っていると危ないと注意されることもあります。プロ野

ン！」やストラックアウトなどのブースに列を作つて待つてゐる子どもたちの姿を見たときは自然と笑みがこぼれました。また、中高生も一緒に笑顔を見せながら積極的に子どもたちと関わつており、あづみの野球フェスタといふ環境が異年齢交流の場となつていてことに喜びを感じています。

子どもたちにとつて異なる年齢の人と接し、つながりを持つことは大切なことです。それは、大きくなつたとき

飯田市出身。豊科高校保健体育科教諭、野球部顧問。安曇野地区野球協会会長兼あづみの野球フェスタ実行委員長として、野球人口のすそ野拡大に尽力している。好きなプロ野球選手は野茂英雄。

**MEMO**

○リトルリーグ  
小学生世代を対象とした硬式野球のスポーツ団体のこと(中学生はシニアリーグ)。学童野球(小学生)や少年野球(中学生)は軟式野球を指す。

○あづみの野球フェスタ  
園児や小学生が中高校生と一緒にボーリング遊びをする申し込み不要の無料体験会。次回は1月31日(土)午前10時から常念ドーム、堀金総合体育館で開催。持ち物は上履き。

異年齢交流はやさしさの循環

自分がしてもらつてうれしかつたことを下の世代にしてあげるといったやしさの循環につながつていきます。まだ工夫が必要ですが、ボール遊びを通して野球に親しみを持つてもらうことはもちろん、今野球をやっている子たちも楽しみながら続けていけるよう、今後もこの活動を続けていきたい

十歳の集いが1月11日にANCアリーナで開かれ、約700人が参加し節目を祝いました。実行

委員長の五十嵐千陽さんは式典で「私たちはこれまでたくさんの人々に支えられてきた。これからは感謝の気持ちを忘れずに温かな灯火の光になれるよう歩んでいきたい。私たちが未来を照す番」とあいさつ。周囲への感謝と本年のテーマ「灯火」に込めた思いを語りました。

本年の参加者は安曇野市誕生の年に生まれました。当日は市制施行 10 周年を記念して行われた「1/2 成人式」で当時 10 歳の自分が 20 歳の自分に宛てた手紙も配られました。式典の企画運営を担当した 8 人の実行委員の皆さんには、8 月から準備を進め、工夫を凝らした交流企画や運営を行いました。最後には、参加者が決意を書いたランタンを一斉に飛ばし、未来への飛躍を誓いました。